

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成29年11月20日（水）午後6時30分～8時40分

【会 場】布部会館

【対象地域】布部・五区・扇山全域

【出席者】 21人

【記録者】松野

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	布部地域でJRを利用しているのは高齢者だけだと思う。JRとバスはそれぞれ1日5便が運航されているが、時間帯が重なっている状況である。JRとバス会社同士で協議して、等間隔で運行することで少しは利用促進につながるのではないかと思う。	【副市長】意見として受け止める。
総務部	懇談会資料の中で、住民に問われていることが3つ掲載されているが、地域住民に問われてもどうしようもないことである。北海道知事をはじめ、各市町村長から国に対して訴えるべき内容だと思う。	【市長】これまで北海道市長会・町村会などで要望などを行っている。昨今の新聞でも報道されているが、北海道として今後の交通体系をどうするのかを、地方自治体だけで考えるのではなく、鉄路の存続が困難と言われている10路線13線区に関わる市町村をはじめ、農業団体などの関係団体も含めた中で、北海道が中心となりこれからの北海道の交通網のあり方を整理していく必要がある。国鉄の分割民営化以降、国はJR北海道の筆頭株主であることから、このような状況に国がどう対応していくのかも含め、今後話し合っていきたい。また、広く世論を巻き込み国に訴えていくために、署名活動も一つの方法と考えているので、今後根室本線対策協議会において検討した中で、実施することになればみなさんに協力していただきたい。
総務部	国は国鉄を分割民営化した段階で経営安定基金だけではなく、何らかの措置をすべきだったと思う。ただJRを利用してほしいと言われても、利用しやすい状況を考えていかなければ、なかなか難しいと思う。今後、10年・20年後のことを考えて、JR北海道として考えていくべきと思う。	【副市長】意見として受け止める。

<p>総務部</p>	<p>高齢化や過疎化が進む中で、鉄道が廃止された場合、放置された鉄道敷地における鳥獣動物とのトラブルをどう防いでいくかも含めて訴えていただきたい。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>総務部</p>	<p>鉄道の廃止に伴うバス転換と簡単に言われているが、バスの運転手不足を考えているのだろうか。貨物トラックの運転手でさえ高齢者がアルバイトで運転するなど不足している状況であり、10年、20年後のことを考えると果たして運転手と運行本数を確保・維持していけるのだろうか。例えば、若い人が大型の免許を取得するのに相当な費用がかかり、就職してくれるのだろうか。人が足りないのであれば、日本の技術力によりJRも自動運転が可能であり、発想の転換をしていくことも考えてみてはどうか。関連する産業も発展するので、国の政策として考えてほしい。</p>	<p>【市長】JR東海ではリニアモーターカーの開発を進めるなど、国鉄の分割民営化以降、JR各社の経営手法に格差が生まれている。参考意見として受け止めたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>欧州では上下分離方式が進んでいる。国道であれば国が管理して除雪などを行っている状況であり、鉄道も国が管理し、走るものは民間が管理すべきと考える。国が何も措置しないのはいかがなものかと思う。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める</p>
<p>総務部</p>	<p>鉄道の問題は地方の過疎化が原因である。北海道であれば札幌市に人が集中してしまい、小さな町では少子高齢化となり自然とJRの利用者も少なくなってしまう。そういった状況ではあるが、鉄道の存続に向け、各市町村長に頑張ってもらいたい。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>総務課</p>	<p>光回線の整備について、各地区において必要であるということで6月に要望書を出させていただいた。広報ふらの10月号では、主要な施設までは整備されると紹介していたが、各家庭までは考</p>	<p>【総務部長】黒いラインは地下に設備が埋設される箇所であり、赤いラインと合せて平成29年度における事業の整備箇所を示している。要望された際にもお話しているが、各家庭すべてを網</p>

	<p>えられていないような気がする。広報紙で示されている黒いラインと赤いラインの違いを知りたい。また、布部の学校や企業、子どもたちが各家庭で勉強する上でも、早い段階で導入してほしいとの声があるので、できるだけ早く整備をお願いしたい。スマート農業においても光回線がなければ取り組むことは難しいと思う。</p>	<p>羅するためには 13 億程度の費用がかかり、今後地区ごとに加入希望者数を把握した上で、光回線の整備にするのか、無線による整備にするのか、または個人の光回線の端末費用を助成していくかを判断していくことになる。</p>
<p>総務部</p>	<p>昔は国鉄が設置している回線設備を利用して、電話などの通信設備に使用していたことがある。もし、JRの回線を利用するのであれば、光回線にも活用できるのではないだろうか。光回線の会社も儲からなければ設置が難しいと思うので、いろいろな形の方法を考えてみてはどうだろうか。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>介護保険料の料金は、今後どのようになるだろうか。また、施設などが増える一方で少子高齢化が進む中、どのような介護保険の事業に使われていくのだろうか。</p>	<p>【保健福祉部長】介護保険料の額は、3年に1度見直しを行い、現在の平均月額は 4,650 円とし、所得に応じて保険料を決定している。今後の保険料については、基本的には介護に関連する事業の必要費用や、利用者の負担割合などを推計した中で算出する形になる。平成 26 年までは 3,900 円であり、現在の保険料は上がっているが、国では平成 37 年には 8,000 円くらいの推計となっている。平成 30 年からの保険料については現在試算しているところだが、大幅には上がらないと考えている。また、介護保険料の用途は、デイサービスやヘルパーに自宅へ来てもらうことが主なものである。ほとんどのサービスは民間事業者が行っているが、高齢化が進む中でサービスを提供する労働者の確保も今後の課題の一つである。</p>
<p>総務部</p>	<p>JR北海道の営業損失などは、これまで経営改善などを怠った会社自体の努力不足が原因である。改めてJR北海道を解体し、別</p>	<p>【市長】行政としてどう対応していくのかを考える段階に入ってきている。国に対して訴えていくためには、各自治体で協力でき</p>

	<p>会社を作りながら人件費削減などの努力をしていくことが必要ではないか。赤字だから何とかしてほしいというのは納得できない話である。また、関係する自治体においては駅周辺に人が集まるようなコンパクトシティを進めていくことが必要ではないか。上下分離方式に切り替え、各自治体などが費用を負担したとしても運営は改善されないと思うが、何とか鉄路を残すようにしてほしい。</p>	<p>ることを整理する必要がある。根室本線対策協議会の中間報告では、JR北海道の赤字に対しては自治体として負担することはできないと報告しており、各路線に関係する自治体の意見を踏まえ、北海道がそれぞれの状況を整理しながら話を進めていかなければならないと考える。また、鉄路の存続に向けて北海道選出の国会議員を含め、住民のみなさんと一体となって運動を展開していく必要があると考えている。</p>
<p>総務部</p>	<p>少子高齢化が進む中、地域の催しなどの参加者も減ってきている。町内会費の負担軽減や事業費の節減などの努力をしていかなければならないと思うが、将来的な地域のコミュニティを形成していくためには、ある程度地域コミュニティのあり方を変化させていかなければならないと思う。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>総務部 保健福祉部</p>	<p>災害時の在宅高齢者はどうサポートしたら良いかも考えていかなければならない。地域も考えるが行政側も良い方法を考えてほしい。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>これまで要望してきた農村地域の4路線の市道の舗装が完了し、残り2路線が残っている。予算の関係もあると思うが、引き続き整備をお願いしたい。</p>	<p>【副市長】要望として受け止める。</p>
<p>総務部</p>	<p>光回線をどれくらいの地域住民が必要としているのか調べてみたいとわからないと思うが、鉄路の存続と同じで地域住民の要望なので、必要としている人への対応をお願いしたい。</p>	<p>【市長】先ほど総務部長がお話したとおり、13億円程度の費用がかかることから、第1段階として最小限の拠点を決めて整備を進めている。光回線に整備された場所が近くにあれば、個人が費用を負担することで光回線を利用することも可能であるが、多数の人が使用する状況が作られるのであれば、公共性の観点から市としても整備を検討していくことになる。</p>

<p>教育委員会</p>	<p>コミュニティスクール推進事業は小学校で進められているようだが、中学校はいつごろから導入される予定なのか。</p>	<p>【教育部長】中学校については、来年度以降全校を指定する予定で、現在準備を進めている。</p> <p>【教育長】コミュニティスクール推進事業は、学校と地域が一体となって進めており、地域に愛着を持つ子どもたちを育てることを中心に取り組んでいる。子どもたちが地域のことを知ることは、将来的に地域へ戻って活動をしたり、他の地域の人たちとつながるきっかけにもなると考えている。また、子どもたちが日常的に地域の人たちと交流することで、災害時などにも一体的な行動ができるようになると考えている。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>新聞によると、札幌市は土・日曜日はどちらか1日のみの部活動にしているという報道があった。富良野市の中学校では、休日や平日も遅くまで部活動をしている状況があり、このままだと勉強する時間がないことから学力に差ができてしまう気がする。先生も子どもたちも熱心に部活動をするのは良いことだが、あまり子どもたちを拘束しないで勉強させることも必要だと思う。</p>	<p>【教育長】部活動だけではなく学校生活も含め、学校長を中心とした学べる環境づくりに努めていく。</p>